

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
IWAD環境福祉 専門学校		平成15年3月25日	平田 富美子		〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町14番22号 (電話) 082-254-9000	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 ひらた学園		平成25年3月22日	平田 富美子		〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町14番22号 (電話) 082-254-9000	
目 的	造園分野や業界が求める知識や技能の習得そして技能検定等の資格取得を目的とする。又、社会適 応力や人間力の研鑽にも力を入れて、社会的ニーズと業界の期待に応える人材育成を行う。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必 要な総授業時数又 は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教養	文化・教養 専門課程	みどりの環境学科 2年課程 (フワ-デザ-インコース)	2年(昼)	1880時間(84単位)	平成17年告示	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		660単位時間 (又は単位)	900単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	320単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人の内数		7人		2人	8人	10人
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法について 授業科目の成績評価は、出席状況 や授業態度、提出物そして各学期 末に行う試験、実習の成果等の状 況等を総合的に勘案して行う。	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月5日 ■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月21日～1月7日 ■学 年 末：3月15日～3月31日			卒業・進級条件	教育課程の修了は、平素の成績と 学年末に試験による認定を行い、 本校所定の全教育課程を修了し たと認められる場合に卒業認定、 進級認定とする。	
生徒指導	■クラス担任制(有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 無断欠席の場合、本人並びに保護者 に連絡確認し、必要に応じて面談。			課外活動	■課外活動の種類 地域行事や行政行事へのボランティ ア参加を推進。 ■サークル活動(有・無) スポーツ同好会・	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 フワ-ショップ、園芸店他 ■就職率 ^{※1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 95.1% ■その他(任意)			主な資格・検定	フワ-装飾技能士、園芸装飾技能 士、カットフワ-アドバイザー、色彩検定、 グリーンアドバイザー、ハーブ検定、 グリーンマスター、専門士他	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成25年5月1日在学者 10名（平成25年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 10名（平成26年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 家計等経済的な問題や病気療養等</p> <p>■中退防止のための取組 定期的に理解度確認の小テスト、担当教員の個別サポート、定期的な個別面談等の実施。 学生の様子（出席状況、授業態度、成績等）を週毎の学科会議で共有、支援策を検討する。</p>
ホームページ	URL:http://www.iwad.ac.jp

1. 教育課程の編成

（教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針）

実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）に活かす。

（教育課程編成委員会等の全委員の名簿）

平成26年10月16日現在

名前	所属
平田 富美子	（学校法人ひらた学園） IWAD 環境福祉専門学校 理事長・学校長
中村 安行	（学校法人ひらた学園） IWAD 環境福祉専門学校 専務理事・事務局長
城田 忠	（学校法人ひらた学園） IWAD 環境福祉専門学校 副校長
有田 隆則	（企業等役職） 広島県農業法人協会会長 日本野菜育苗協会会長 広島県農林振興センター評議員 （有）有田園芸農場代表取締役
福嶋 偉人	（業界団体役職） （社）広島県造園建設業協会会長 日本インドアグリーン協会会長 （株）有斐園代表取締役会長
篠原 一郎	（業界団体役職） NPO 法人ゆうきびと理事 食と農広島県協議会幹事 広島県自治体問題研究所理事
梶原 澄子	（業界団体役職） （社）可部大文字会 老人福祉施設山まゆ常務理事・施設長 広島市老人福祉施設連盟副会長
保田 和彦	（企業等役職） 医療法人あすか 介護事業部部長・生活リハビリ推進室室長
山村 多賀也	（企業等役職） （株）はな乃祥ドウジエム代表取締役
正本 大	（企業等役職） （社）日本造園建設業協会広島県支部支部長 広島県緑化センター指定管理者 みずえ緑地（株）代表取締役
弥政 慎一	（企業等役職） 社会福祉法人光清学園施設長

（開催日時）

第1回 平成26年3月25日 17:00～18:30

第2回 平成26年11月22日 17:00～18:30

2. 主な実習・演習等

（実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針）

- ・花卉・園芸分野に携わる人材養成のための実習であることの共通理解をする。
- ・可能な限り、職場経験することやチーム作業を行うことを実践して指導いただくことの承諾。
- ・花卉・園芸分野に携わる人材を育成するための指導・助言をしていただくことの依頼。

科目名	科目概要	連携企業等
企業実習 I	花卉・園芸分野に関連する企業に出向き、学校で学んだ花卉・園芸に関する基礎知識や技能を応用して花卉・園芸等の内容把握と職場演習を経験する。チームの一員として作業し、自分の役割について理解することや就職	同一企業ではない。別紙様式3-1を参照

	するために必要な知識や技能の確認も目的とする。	
企業実習Ⅱ	花卉・園芸分野に関連する企業に出向き、花卉・園芸等の把握(目的・内容・まとめ報告)と職場演習を経験する。自分の役割を果たすよう作業ができることや就職するために必要な知識を確認し、花卉・園芸の基本となる作業を継続できる実践力があるかの確認、進路の方向性を見定めることを目的とする。	同一企業ではない。別紙様式3-1を参照

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教育機関として、時代の求める教員としての技能や知識及び経営能力を備えた人材を養成するために研修等を積極的に組み入れて教育への反映を行う。

- ・ 広島県/広島市が開催する指導者研修会への参加
- ・ 関係機関が開催する研修会への参加
- ・ 本校が開催する講習会等にスタッフとして参加

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 26 年 10 月 16 日現在

名 前	所 属
渡部 徳代	(卒業生) NPO 法人日本花文化協会 評議員
石田 良二	(保護者・農業) 広島県農林水産局課長
杉之原 康子	(地域住民) 三晃不動産株式会社 代表取締役
川村 慎二	(介護福祉・園芸療法) 医療法人せのがわ 理事・総務部長
仲田 仁	(園芸療法・こども) 社会福祉法人おりづる 理事長
西山 直樹	(造園・フラワー) 株式会社滴翠造園 代表取締役社長
岡田 雄幸	(農業・自然) 社会福祉法人みどりの町理事 障害者支援施設大和農園施設長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.iwad.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.iwad.ac.jp>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 みどりの環境学科 フラワーデザインコース)

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ワークガイド ダンスA (パソコンスキル)	表計算ソフト「Excel」の基礎を学び、日本情報処理検定協会主催表計算3級の合格を目指す	1 後	30	2	○	△	

○		ワークガイダンスB(ビジネス実務)	就職に向けた、ビジネス知識、社会常識、スキル、マナーを習得する	2 前	30	2	○	△	
○		ワークガイダンスC(プレゼンテーション・卒業研究)	研究の遂行に必要な原理手法を学び、その過程で問題解決能力とプレゼン能力を習得する	2 後	30	2	○	△	
○		ワークガイダンスD(基本コミュニケーションスキル)	自己覚知、円滑な人間関係の構築、社会参加を目指したコミュニケーションの基礎を学ぶ	1 前	30	2	○	△	
○		ワークガイダンスE(応用コミュニケーションスキル)	自己覚知、円滑な人間関係の構築、社会参加を目指したコミュニケーションを応用実践的に学ぶ	1 後	30	2	○	△	
○		茶道	日本の総合文化である茶道を通して、今失われている人道・礼儀作法を学ぶとともに、造園との関わりある手法や技法を習得する	1 前	30	1	△	○	
○		フラワービジネス	卓越した技術とノウハウでフラワーフィールドを創造。あらゆるシーンで、花と緑のビジネスの現状を学ぶ	1 前 2 前	60	4	○		
○		カラーコーディネート	色彩が人の心に応える影響を学び、色彩の力を自分の力として使う事を学ぶ	1 後 2 前	60	4	○	△	
○		ラッピングコーディネート	フラワーアレンジメントをより引き立たせる技術として必須。販売系の仕事でも重宝されるラッピング技術を学ぶ	2 後	30	2	○	△	
○		デザイン基礎	プロとして、美的感覚・感性が必要と考え、美術をベースにあるべき姿を追求する	1 前 2 前	60	4	○		
○		販売士検定	フラワーショップ等の仕事も視野に入れ、販売士検定受験を目標として学ぶ	1 後 2 後	60	4	○	△	
○		土壌・肥料・病害虫 I	植物が生長するにはいくつかの環境因子(土壌・肥料・病害虫)を栽培環境因子の基礎として捉え、基礎的知識を修得する	1 前	30	2	○		
○		造形写真表現	広告やアートの世界に通用するクリエイティブフォトグラフィーの手法を学ぶ	2 後	30	2	○	△	
○		植物学 I	植物について幅広い知識を取得し、生物としての植物を理解する	1 前	30	2	○		
○		植物学 II	植物の生理・生態の基本的理論と植物の分類法を理解する	2 前	30	2	○		

○		園芸デザイン基礎	草花の基礎を習得すると同時にガーデンデザインに不可欠な豊かな感性を育て、実生活の中で緑と花の提案が出来るようになる	1 前 2 前	60	4	○	△	
○		園芸デザイン演習	自然の中で植物の生長・特性の実践体得と草花を育て花壇の設計・管理を学び、緑の普及の担い手となる精神を養う	1 後 2 後	60	2	△	○	
○		カットフラワーアドバイザー演習Ⅰ	フラワーデザインの基礎知識・構成理解を実践的に学ぶ	1 前	30	1	△	○	
○		カットフラワーアドバイザー演習Ⅱ	演習Ⅰを基礎とし、より応用的実践的にフラワーデザインの知識・構成の理解及び技術を学ぶ	2 前	30	1	△	○	
○		生け花	植物を使った技芸生け花の知識・技術の両面から学ぶことにより、日本人の植物に対する姿勢・思想を学ぶ	1 前 2 前	60	2	△	○	
○		プリザーブドフラワー演習	プリザーブドフラワーの特徴を生かし、身近に楽しめるアレンジ作成技術を学ぶ	2 前	30	1	△	○	
○		ハーブ・アロマセラピー	ハーブ・アロマセラピーをより医学的・薬理的に学び、実生活でも活用できる方法を学ぶ	1 後	30	1	○	△	
○		フローラルアート演習	保存で出来るという技術から、いろいろな生活シーンに合せたフラワーデザイン技術を学ぶ	1 通 2 通	120	4	△	○	
○		ブライダルフラワー演習Ⅰ	ブライダルシーンのみならず、お花の先生育成も視野に入れる。ブライダルフラワーをメインに幅広い技術を学ぶ	1 通	60	2	△	○	
○		ブライダルフラワー演習Ⅱ	ブライダルシーンのみならず、お花の先生育成も視野に入れる。ブライダルフラワーをメインに幅広い技術を学ぶ	2 通	60	2	△	○	
○		フューネラルフラワー演習	高齢化の社会に益々需要があると考えられる葬儀の花について時代のニーズに合わせた花の扱い方を学ぶ。	2 後	30	1	△	○	
○		アートフラワー演習	日常生活に役立つ造花のアレンジを学ぶ	1 後 2 後	60	2	△	○	
○		フラワー装飾技能士3級演習	フラワー装飾3級資格の習得 学科試験の対策	1 前	60	2	△	○	
	○	フラワー装飾技能士2級演習	フラワー装飾2級資格の習得 科試験の対策	2 前	60	2	△	○	

	○	園芸装飾技能士3級演習	ガーデニングにおける施工技術の基本である園芸装飾3級技能士の取得を目指す(実技、要素、学科含む)	2前	60	2	△	○	
○		フラワー空間装飾Ⅰ	生活に合わせた色々なシーンを考え、動向を考えた装飾テクニックを学ぶ	1通	60	2	○	△	
○		フラワー空間装飾Ⅱ	生活に合わせた色々なシーンを考え、動向を考えた装飾テクニックを応用的実践的に学ぶ	2通	60	2	△	○	
○		フラワーデザイン作品制作Ⅰ	フラワーアレンジとはどのようなものかを理解し、応用を学ぶ	1通	60	2		○	
○		フラワーデザイン作品制作Ⅱ	フラワーアレンジとはどのようなものかを理解した上でより応用的実践的に知識・技術を学ぶ	2通	60	2		○	
○		企業実習Ⅰ	プロとしての知識を身に付け、企業現場でどのように実践活用出来るかを学び社会人としての仕事の取り組み方を習得する	1後	160	4			○
○		企業実習Ⅱ	プロとしての知識を身に付け、企業現場でどのように実践活用出来るかを学び社会人としての仕事の取り組み方を習得する	2後	160	4			○
合計				36科目	1880単位時間(80単位)				